

2020年度 第3回CSR委員会 議事録

日 時 2020年9月25日(木) 13:30~17:00
 会 場 Web会議
 出席者 17名(欠席：南東北 沓澤さん、東海 伊藤さん)

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック		委員名	ブロック		委員名
東京	廣瀬 城児	南関東		丹沢 悟	東中国	○	山田 眞理
北海道	池田 壮	東京	○	三浦 起世光	西中国		青木 道男
北東北	小笠原 裕司	東海		伊藤 準	四国		平岡 佳展
南東北	沓澤 六雄	北陸		宮下 正	九州北		三浦 文義
上信越	桐島 航平	近畿		松田 時典	九州南		高橋 浩志
東関東	岩崎 栄	阪神		西川 秀俊			

<事務局> 専務理事:野元 敏昭、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、○:副委員長

<委員会での決定事項>

- ・家族単位でのぼうさい探検隊の活動を県代協会長中心に依頼する(進捗状況を連携)
- ・ハザードマップの活用状況をブロックごとにヒアリングする
- ・損保協会へぼうさい探検隊の表彰基準を確認(事務局)

議 事

・挨拶

1. 廣瀬委員長挨拶

- ・前回6月の第2回委員会、8月の小委員会をWEBで開催してきましたが、その間豪雨被害や台風被害の対応等に加え、コロナ禍の中、各ブロックでの様々な取組みを模索していただきありがとうございます。
- ・今日は、皆さんに提出いただいた活動チェックシートの進捗状況を共有して、各ブロックの見える化をしていきたいと思っています。良い取組み事例を発表していただき、今後の活動に活かしていただければと思います。
- ・皆さんは、各ブロックの代表者として参加いただいておりますので、各代協にしっかりと情報をフィードバックすることも大切な役目となりますので、よろしくお願いします。
- ・BCP策定セミナーの汎用フライヤー(チラシ)を作って皆さんに連携していますので有効に使ってください。
- ・「ぼうさい探検隊」マップコンクールについては、本年度は家族単位での推奨をお願いしております。その中で福岡・東京ではオリジナルのフライヤー(チラシ)を作って取り組んでいただきありがとうございます。マップの提出期限が11月4日と残り1ヶ月ですが、せっかくエントリーいただいた団体さんなので、マップの提出までフォローしてください。あわせて、引き続きエントリーの推進もお願いします。
- ・今回もWEB開催となってしまいましたが、皆さんとベクトルを合わせて活気のある委員会としたいと思います。せっかく時間を作って参加いただいているので、積極的な意見を出してください。
- ・可能であれば、今回はハイブリッド型であれば、顔を合わせることができたらと思っています。

2. 横山副会長メッセージ

横山副会長からの CSR 委員向けメッセージを代読した。

- ・猛暑に局地的な豪雨、異常な気象は、今年もまた日本全国に被害の爪痕を残しました。そこへ新型コロナウイルス感染の脅威が重なり、夏の様相は一変しました。まずは、豪雨災害や猛烈な暑さのため、そして新型コロナウイルスの犠牲となられた方々のご冥福を喪心からお祈り申し上げますとともに、いまだに、日常の生活を送ることのできない多くの方々の一日も早い復旧、完治をご祈念申し上げます。
- ・今年度の CSR 委員会も 3 回目を迎えました。2020 年度の事業年度の第 1Q における各地区のお取組みを共有しながら、当年度の事業計画と照らし、今後の展開について議論をする大事な会議となります。しかしながら、本日は先約があり調整を試みましたが、それも叶わず、やむなく欠席させていただくことになりました。このわがままをお許しいただきたく存じます。
- ・さて、去る 9 月 14 日に第 4 回理事会が開催されました。また、翌 15 日は、第 1 回全国会長懇談会、そして 16 日には各代協の新会長を対象としたオリエンテーションも開かれました。その場に出席いたしまして、この 3 日間で代協活動の“大動脈”に濃密な情報が全国に流れたと感じました。
- ・この理事会、会長懇談会の内容については、理事の廣瀬 CSR 委員長からもご報告があるかと存じますが、両会議においても「自然災害」の対策が大きなテーマの一つになりました。大規模自然災害、とくに風水災への取組みは、損保業界の一員として社会的役割を果たすという共通の目的に向けて、保険会社各社と我々保険代理店がより一層、連携していくことが確認されました。
- ・保険代理店は、身近な自分の周りのリスクを知っており「ハザードマップ」を活用して契約者や地域住民へ防災・減災の意識を高めていく取組みをより一層行う必要があります。また、通信手段の格段の進化も、被災者へのサービス向上が保険の価値をさらに高めています。
- ・お客さまが被災してから迅速に対応するために、我々代理店がより細やかに対応することは皆さんも心得ているところで、これまでも大規模災害の被災地では、協会員が自ら被災しているにもかかわらず、不眠不休で対応されてきました。それが評価されて、地震保険や水災補償特約の加入率が年々上がってきております。
- ・CSR 委員会では、地震災害、水災災害に備える啓発活動として、「地震保険普及キャンペーン」や「ぼうさい探検隊」等の公益事業を全国に展開し、その普及に努めているところですが、さらにお客さまに寄り添う活動を委員の皆さまの英知を結集して取組んで、安心して住める社会づくりに貢献して参りましょう。
- ・防災・減災はもとより防犯においても、社会課題の解決に貢献する CSR 委員会のミッションです。特定修理業者の不正請求対策～災害に便乗した悪質商法から消費者を守る取組みも災害対策の一つとして位置づけて全国の協会員がいかに情宣していくか、こうした課題もあります。
- ・また、「見えない敵」ともいえるサイバー犯罪の巧妙化、拡大化による被害から契約者をいかにお守りするか、という喫緊の課題もあります。サイバー犯罪は、保険だけでは賄いきれない社会的信用の失墜を招く恐れもあります。お客さまには、サイバー犯罪への備えを伝えるのみならず、被る損害の甚大さやダメージについて正しく伝えるとともに、サイバー攻撃への備えを喚起することも代理店の大事な役割でもあります。
- ・当委員会の課題は多岐にわたるところではありますが、社会に保険代理店の存在意義と価値を、全協会員が体を張って取組む代協であるために、CSR 委員会の皆さまの斬新なアイデアと活発な議論がその“源泉”であると考えています。
- ・最後になりますが、このコロナ禍にあってこれまでにないご苦労をされながら、会議運営にご尽力をいただいています野元専務理事をはじめ、事務局の皆さまにご慰労とともに心からの感謝を申し上げ、不参のご報告とさせていただきます。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に山田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項・情報共有

1. 理事会・全国会長懇談会報告

- ・廣瀬委員長より、配布した第4回理事会および第1回全国会長懇談会の議案書・次第の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。
- ・2020年度「功労者表彰者」については推薦された11名が選考会議を経て理事会で承認された。
- ・2020年度コンサルティングコース受講者募集の代協別目標数につき審議され承認された。
- ・会長懇談会では、WEBセミナー等の企画・開催につき大阪代協に取組み発表いただいた。その後、分散会にてコロナ禍における事業計画推進に関する現状と課題並びに対応、WEB会議・セミナーの活用について意見交換を行い、全ブロック長より論議内容を報告いただいた。

2. 2020年度 第1回活力研報告

事務局より、9/4開催の活力研について配布した論議テーマに沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・テレワークの一番の課題である「勤務」がどこまで認められるかについて討議され意見の相違はほとんどなかった。
- ・テレワークについては、代理店における雇用機会の拡大と働き方の多様化の観点からテレワークを織り込んで営業社員の活用を検討して欲しいという声が複数寄せられており、それをふまえて案を作り保険会社にぶつけたということです。この点は金融庁としても後押ししたいとされており必要があれば当局交渉含め募集要件の現代版(ウイズコロナ版)として見直しを保険会社と調整しながら出していこうと思っています。日本代協としては100%テレワークの導入を提案しています。
- ・オンライン契約締結については、個社毎のルールを定めないよう一緒に考えていくことを要望し、保険会社側も共通認識を持っていた。
- ・オンライン締結は、お客さまが決める事ですが、これからの時代を考えた時にオンラインは対面であり、非対面は郵送と電話だ、という前提でオンライン面談時の意思を伝えるスキル等が必要となる観点があり、しっかり取り組まなければいけないという認識を持つ必要があると思っています。
- ・テレワークやオンライン契約が競争領域とされ保険会社毎にルールが違うことのないよう、申し入れております。
- ・特定修理業者問題については業界一丸となって対応していかなければならないとの認識を共有した。

3. 前回委員会の振り返り

- ・前回CSR委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

・審議事項

1. 各ブロック活動状況

(北海道)

コロナの影響でほとんど活動できていないというのが現状です。

- ・北海道では、毎年春に無保険車追放運動を実施していたが、今年度は国交省と連携し秋に実施することとなった。地震保険普及キャンペーンと併せての街頭活動を9月・10月に行う予定
- ・独自活動は、清掃ボランティア活動(室蘭)、タオルボランティア(旭川)、新聞広告掲載、交通安全キャンペーン(釧路)等の活動を実施した
- ・BCPセミナーについてはまだ、できていない

(北東北)

- ・BCP セミナー 青森、岩手ではWEB開催を検討
- ・サイバーセミナー 青森はWEB開催を検討中、岩手はリアルを検討中
- ・地震保険普及 岩手県盛岡支部、県南支部で10/23実施予定
- ・無保険車追放 岩手県で9/24実施済
- ・独自活動 岩手県で4/10クリーンアップ(清掃)活動実施済

(南東北) 欠席

(上信越)

- ・ぼうさい探検隊 ブロックCSR委員会にて各県3団体の目標を確認し達成見込み
- ・BCP セミナー 群馬は企画環境委員会と連携し開催予定、長野はWEB開催予定、新潟は予定なし
- ・サイバーセミナー 3件とも予定なし(長野、群馬は昨年実施済)
- ・地震普及、無保険車追放キャンペーン 街頭活動しないが新潟では一部大学での活動を検討中
- ・独自取組 献血、清掃活動を適宜実施

(東関東)

- ・ぼうさい探検隊 千葉以外活動できていない
- ・BCP セミナー 埼玉(10/30)リアル開催、茨城(10/20)WEB開催
- ・サイバーセミナー 千葉ではWEB開催を検討、埼玉は1~2月に開催のチャリティボウリングとセットでの開催を検討中
- ・地震普及、無保険車追放キャンペーン 3県とも活動自粛(会員へのチラシ配布のみ)
- ・独自活動もそれぞれ中止か延期となっている

(南関東)

- ・ぼうさい探検隊 神奈川CSR委員会にて各支部参加団体を登録することが決定、山梨は家族単位で3団体登録予定
- ・BCP セミナー 両県とも実施未定
- ・サイバーセミナー 両県とも実施未定(山梨は昨年実施も顧客への情宣未)
- ・地震普及、無保険車追放キャンペーン 街頭でのチラシ配布中止、会員から顧客へチラシの配布実施
- ・独自活動 山梨で10/4未来の荒川をつくる会(清掃活動)予定

(東京)

- ・ぼうさい探検隊 家族単位での活動チラシ(福岡県代協を参考)を作成し推進中
- ・BCP、サイバーセミナー 今期中の開催を検討
- ・独自活動についても中止、延期の方向性

(東海) 欠席

(北陸)

- ・ぼうさい探検隊 3県とも3団体目標で家族単位を推進
- ・BCP、サイバーセミナー 福井では8月から独自WEBセミナーを開催しているのでその中で実施予定
- ・地震普及、無保険車追放キャンペーン 福井で12月開催予定出前講座で学生に配布、他会員が配布
- ・独自活動 3県とも毎年実施している献血活動は予定通り開催

(近畿)

- ・ぼうさい探検隊 滋賀、奈良は現状0件ですが追い込みます、京都は子供のいる理事に依頼している
- ・BCP、サイバーセミナー 3県とも現状では開催難しいとの判断(BCPは組織委員と連携して検討)
- ・地震普及活動 8/25FM彦根に出演し地震普及をアピール(滋賀県)
- ・無保険車追放 立命館大学、龍谷大学での授業再開に合わせ学生課に配布を検討(滋賀県)
- ・独自活動 水害被災地支援(タオル寄付)を宮城、岐阜県下呂市、熊本県人吉市実施(滋賀県)

(阪神)

全体的に活動は中止・縮小の傾向、コロナ禍の中でオンラインセミナーが普及しているのを強く感じます。

- ・ぼうさい探検隊 大阪のCSR委員長が和歌山の活動に参加していただいた(県をまたぐ取組み)
- ・サイバーセミナー 和歌山では、2月開催を県警と調整中
- ・独自活動 滋賀県の水害被災地支援取組みを参考に、大阪では九州地区への支援を予定

(東中国)

- ・BCPセミナー 9/29鳥取県WEB開催、岡山、鳥根は未定
- ・サイバーセミナー 3県とも未定
- ・独自活動 岡山 8/1~31献血月間としてチラシ作成、献血ルームを案内(86名参加)、9/1地震広告掲載、10/1清掃活動、12月AED講習等実施(予定)
- 鳥取 10月敢行事業団へ車いす、ベビーカー寄付

(西中国)

- ・ぼうさい探検隊 山口は目標達成厳しそう(広島は見込み有)
- ・BCPセミナー 広島検討中
- ・サイバーセミナー 広島は昨年実施しており今年度は見送り
- ・無保険車追放キャンペーン 広島9/24実施
- ・地震保険普及 街頭でのチラシ配布中止、会員から顧客へチラシの配布実施
- ・独自活動 広島では、献血キャンペーン実施中(独自作成の記念品配布)
- 山口では、10/3鶴のねぐら清掃活動予定

(四国)

- ・BCP セミナー 四国 4 県 WEB 開催を検討中
- ・サイバーセミナー 徳島で 12 月か 1 月に WEB 開催予定だが、県警が対応できるかが不明
- ・地震普及、無保険車追放キャンペーン 街頭でのチラシ配布中止、会員から顧客へチラシの配布実施
(不動産業者に大学生向け配布を依頼)
- ・独自活動 4 県ともボランティア活動は延期

(九州北)

福岡はコロナ、大分、佐賀、長崎は台風・水害の対応で十分な活動ができていない

- ・ぼうさい探検隊 福岡は独自チラシ作成し推進、佐賀、長崎は災害対応で大変だがなんとかする
大分では TV 番組での参加団体による情宣実施
- ・BCP セミナー 大分では BCP 策定委員会を設置しその中でセミナー開催を検討、他県にも連携
- ・サイバーセミナー 4 県とも厳しい状況
- ・地震普及、無保険車追放キャンペーン 街頭でのチラシ配布中止、会員から顧客へチラシの配布実施
各団体・施設への配布

(九州南)

- ・ぼうさい探検隊 4 県とも目標達成見込み
- ・BCP セミナー 沖縄で 10/29WEB 開催予定、他県へ連携する、宮崎で 11/17 開催
- ・サイバーセミナー 熊本で 11/18 二回目の開催予定
- ・無保険車追放キャンペーン 宮崎では県警と連携し免許センター(3 か所)にリーフレットを設置
鹿児島では高校への設置を依頼中、熊本は陸運支局への設置を依頼

2. ぼうさい探検隊の取組み

廣瀬委員長が実際のタブレットを借りて、流れを説明

- ・申し込み後タブレットとマニュアルが送られてくるので、自宅(Wi-Fi 環境がある場所)で地図の設定を行い、現場に行って写真を撮ったりコメントを入れる流れで、結構簡単そうです。

西川さんより実際作成したマップを使って活用方法を説明

- ・出来上がった地図を区長さん、自治会会長、PTA 会長に提案すると喜んで受け取ってくれる(市とか県だとハードルが高い)。マップで指摘した危険個所が実際改善されたりすると子ども達の達成感がより一層高くなるので、作っただけでなく自治体単位へ提言するのも次につながるのではないかと。
- ・事前準備で学校の先生にインタビューを行い作成したマップを渡す(以前は模造紙 1 枚しか作れなかったが、タブレットだと同じ物が数枚印刷できる)ことで、取組みが広がっていく。
- ・操作が分からない場合でも問合せ先の担当が丁寧に説明してくれるので安心です。

取組みについての質問・要望

- ・今後自分のタブレットにアプリをダウンロードするようなやり方を検討して欲しい。
- ・タブレットで作成したマップはどのように表彰するのか(同じようなフォーマットで甲乙つけがたいのでは)?

事務局より損保協会に要望、確認する

3. 防災・減災の具体的な取組み

廣瀬委員長より

・ハザードマップについて、今年度深掘りしたいと思っています。損保協会の防災ツール、国交省、市町村、保険会社等様々なハザードマップが提供されているが、皆さんがどのツールを使っているのか使用状況をお聞かせいただき、委員会でまとめることが出来たらと思います。

(主な意見)

- ・保険会社、市町村提供のハザードマップの使用が多い
- ・防災士の勉強会で照会された「わがまちハザードマップ」は使いやすい
- ・水害危険が高い地域のお客さまにハザードマップを添付し説明すると水災担保加入が高まる
- ・損保協会提供の防災ツールは防災に対する意識付けができて便利です

野元専務より、ハザードマップの活用について下記補足があった。

- ・宅地建物取引業法が改正されて、不動産業者は水災リスクの高い地域ではお客さまにハザードマップを提示し説明することが義務化されました。これにより、自社で保険を取り扱っている業者は保険販売がし易くなるのでプロ代理店の皆さんは注意してください。日本代協では、不動産業者向けの BCP セミナー開催ツールをさくせいちゅうなので、皆さんと提携している業者に提案してください。
- ・国は、水災リスクの高い地域に対して移転を勧めている。地域で防災に係わるリスクマネージャーとして活用している皆さんにとっては、水災に関する情報提供は重要なことなので、積極的に推進してください。

BCP 策定についてはまずは自社でしっかり策定(見直し)してから、顧客への提案をして下さい。

(パンデミックの BCP 策定ツールを日本代協事務局で作成中)

4. サイバーセキュリティ対策

・セミナーの取組みについては、開催できるところは、県警と連携して推進してください。

野元専務より情報提供

- ・現在エモテット(攻撃ウイルス)が世界を席卷しており、特に日本は来年オリンピックが開催されることもあり集中的に狙われている(トヨタ自動車等大企業はガードが堅いがサプライチェーンである中小企業は狙われている)
- ・日本代協にも感染したメールが送られてきたりしているので、まずは皆さんがセキュリティを確保していただき、顧客への情報提供するようにしてください(事務局からも定期的にニュースを発信しているので確認してください、また、損保クラウドは優秀なので是非活用してください)。

.その他・閉会

1. 情報提供

・東京代協では業者と提携し、オンライン活用(全会員が自主的活用できるよ)の推進を図っている

2. 本日の到達点の確認

・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

以上

次回開催日 2021年1月25日(月) 13:30~17:00